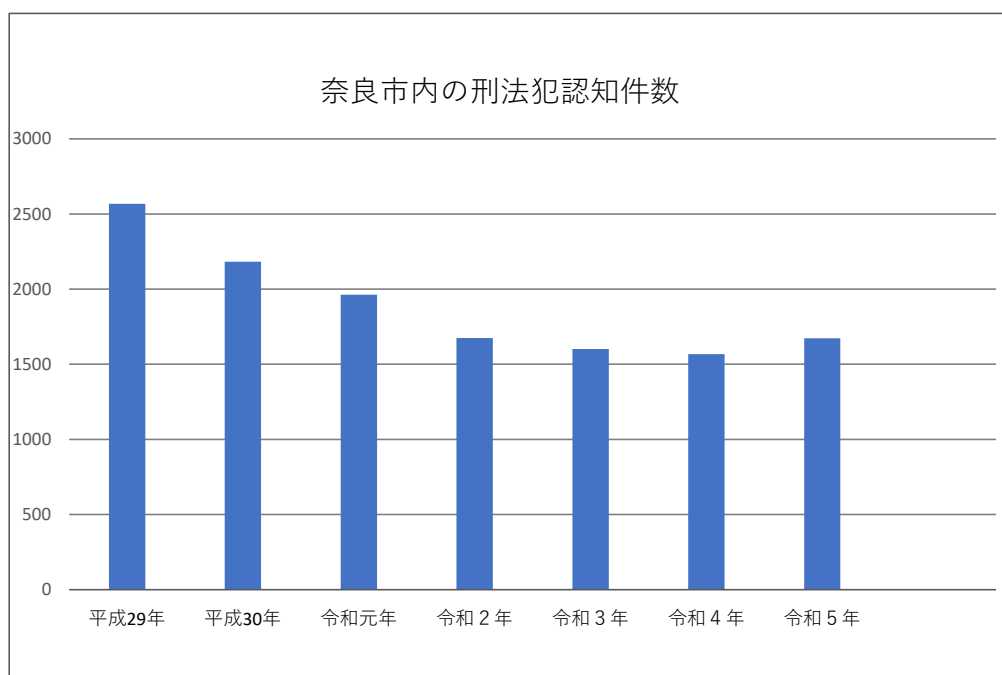


奈良市防犯カメラ設置事業に関する効果検証について

1 刑法犯認知件数の推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
認知件数	2568	2183	1963	1674	1601	1568	1673
前年対比	-1.6%	-15.0%	-10.1%	-14.7%	-2.8%	-2.1%	6.3%



●奈良市内における刑法犯認知件数は、防犯カメラ設置事業を開始した平成29年以降も減少しており、昨年（令和5年）は前年比プラスであったものの、平成29年と対比しても-34.9%と大幅に減少している。

2 防犯カメラの活用検挙事例及び画像提供状況（令和4年、5年）

●活用検挙事例

- ① 令和4年9月発生 強制わいせつ事件（小学生女兒対象）
- ② 令和5年6月～7月発生 不同意わいせつ事件（連続発生）

●画像提供状況

別添資料

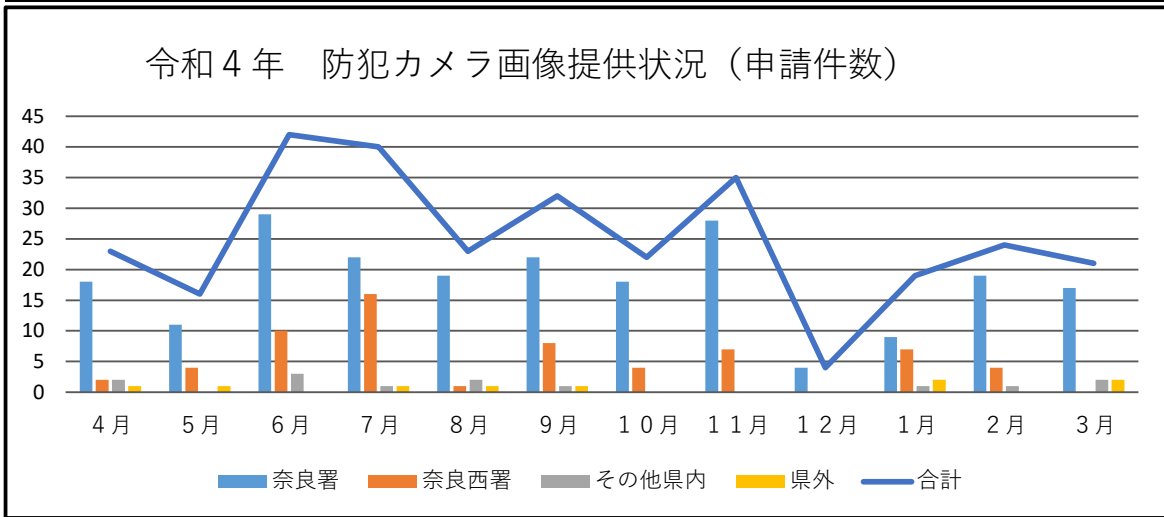
3 新規設置等

- 50台の新規設置に関して、県警本部、警察署に候補地の照会を行ったところ、合計80箇所が挙がっており、これらの多くが（500台設置後の）令和5年度に発生した事件、事故での捜査等で発生地付近に防犯カメラが設置されていなかった場所である。
- 画像抽出用端末については、現在、警察署に各1台しか提供しておらず、現場の警察官から「捜査等で支障をきたす場合もある」との声も挙がっている。

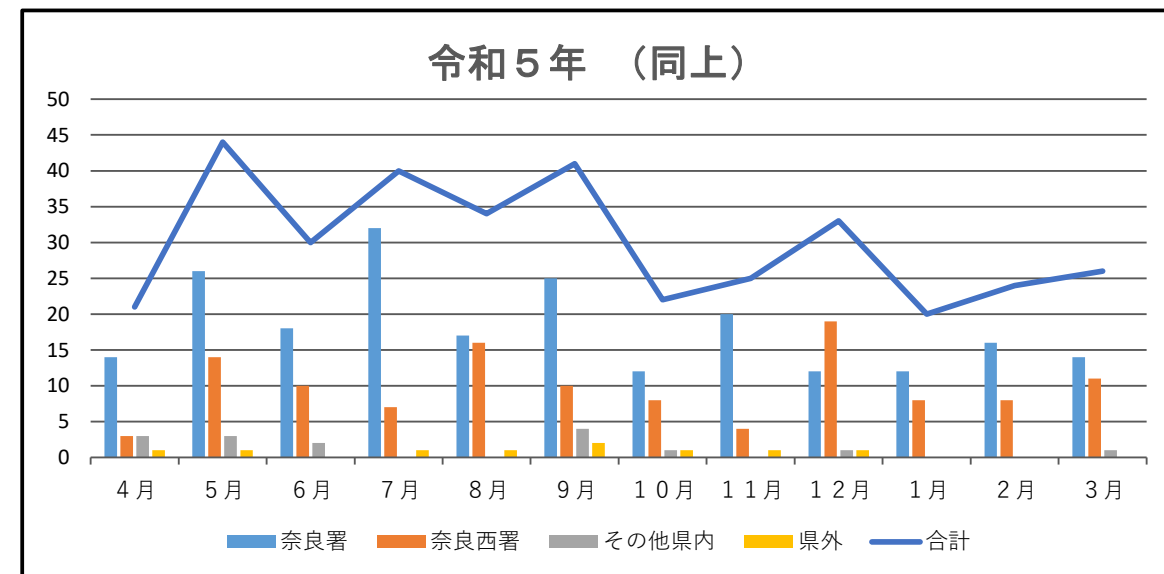
4 まとめ

- ・（上記1のとおり）奈良市内における刑法犯認知件数は、防犯カメラ設置事業を開始して以降、大幅に減少しており、犯罪抑止に一定の効果があったと判断される。
- ・（上記2のとおり）防犯カメラを活用しての検挙事例もあり、また、防犯カメラ活用による検挙件数は総検挙件数の約2割を占めている。更には、防犯カメラの画像提供も年々増加している。
- ・（上記3のとおり）今後も、警察の防犯カメラ設置等（画像抽出用端末の提供）に関する要望は増え続けると思われる。
- ・ 以上のことから、同事業の効果、貢献度は非常に高いと判断され、引き続き、県警等と連携を図りながら、効果検証を行うなどして、同事業を推進していく。

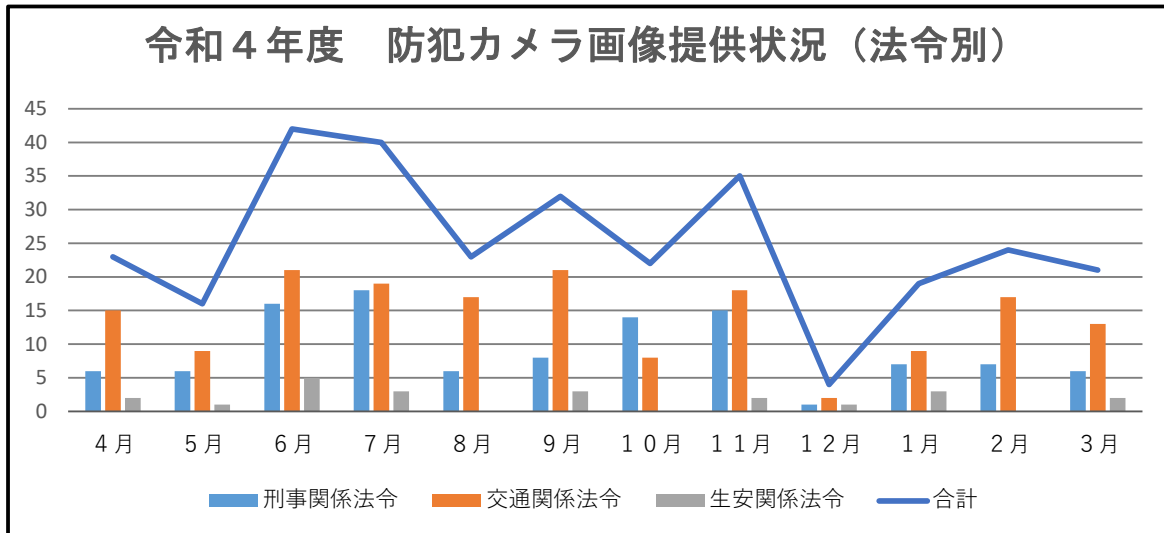
令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
奈良署	18	11	29	22	19	22	18	28	4	9	19	17	216
奈良西署	2	4	10	16	1	8	4	7		7	4		63
その他県内	2		3	1	2	1				1	1	2	13
県外	1	1		1	1	1				2		2	9
合計	23	16	42	40	23	32	22	35	4	19	24	21	301



令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
奈良署	14	26	18	32	17	25	12	20	12	12	16	14	218
奈良西署	3	14	10	7	16	10	8	4	19	8	8	11	118
その他県内	3	3	2			4	1		1			1	15
県外	1	1		1	1	2	1	1	1				9
合計	21	44	30	40	34	41	22	25	33	20	24	26	360



令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
刑事関係法令	6	6	16	18	6	8	14	15	1	7	7	6	110
交通関係法令	15	9	21	19	17	21	8	18	2	9	17	13	169
生安関係法令	2	1	5	3	0	3	0	2	1	3		2	20
合計	23	16	42	40	23	32	22	35	4	19	24	21	301



令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
刑事関係法令	13	14	15	17	19	17	6	8	8	9	4	11	141
交通関係法令	6	23	7	13	9	18	10	13	17	6	12	13	147
生安関係法令	2	7	8	10	6	6	6	4	8	5	8	2	72
合計	21	44	30	40	34	41	22	25	33	20	24	26	360

